

- ① 配本希望部数をご記入のうえ郵送またはFAXにてご連絡をお願いいたします。  
希望部数を優先して配本しておりますので、必ずお申し込み下さい。
- ② 委託期間内返品可 配本後到着の注文書を注文扱いにて出荷させていただきます。
- ③ ★印の図書は特にご注目下さい。平積み頂ければ幸いです。
- ④ 小局ホームページより、「新刊のご案内」最新号がダウンロードできます。

帖合・番線	部数	法政大学出版局 <b>2021年2月15日配本</b> 定価4950円(本体4500円+税) A5判上製・294頁 宇佐美達朗 著 <b>シモンドン哲学研究</b> 関係の实在論の射程 <b>ISBN978-4-588-15113-2 C1010</b> 個体化や技術をめぐる1950年代末の主著がドゥルーズやスティグレルらに影響を及ぼし、近年国際的に注目され、いまなお講義録の出版が続く哲学者ジルベール・シモンドン(1924-89)。前個体的实在、準安定性、アラグマティクス、トランスダクションなど、その独特な諸概念による体系の成立過程を、フランス科学認識論やサイバネティクスの文脈に位置づけながら読解する、本邦初の画期的モノグラフ。 <b>【哲学・思想】</b> ☆関連書:ジルベール・シモンドン『個体化の哲学——形相と情報の概念を手がかりに』(小局刊)。
-------	----	--

帖合・番線	部数	法政大学出版局 <b>2021年2月下旬配本</b> 定価3740円(本体3400円+税) 四六判並製・376頁 フィリップ・ブローム 著/佐藤正樹 訳 <b>あるヴァイオリンの旅路</b> 移民たちのヨーロッパ文化史 <b>ISBN978-4-588-35235-5 C0022</b> ★★ 偶然手に入れた無銘のヴァイオリンに愛着を感じた著者が、その来歴を探る旅を通してヨーロッパ300年の歴史を描く。気候変動、戦争、疫病、経済変化、器楽の発達、音楽史、文化史といった多面的歴史と、生きるために移民となりヨーロッパ文化を陰で支えた無名の人々の姿が、ひとつの楽器の中に浮かび上がる。推理小説のように展開する楽器の作者捜しの旅は、個人の記憶と壮大な歴史が絡み合い読者を迷宮に誘う。 <b>【文化史・音楽史】</b> ☆関連書:マクレガー『100のモノが語る世界の歴史』(筑摩書房)、ゼーバルト『アウステルリッツ』(白水社)ほか。
-------	----	--

帖合・番線	部数	法政大学出版局 <b>2021年2月26日配本</b> 定価2750円(本体2500円+税) A5判並製・368頁 杉田俊介、櫻井信栄 編/川村湊、藤原侑貴 編集協力 <b>対抗言論 反ヘイトのための交差路 2号</b> 複合差別を解きほぐす <b>ISBN978-4-588-61612-9 C0336</b> ★★ 新型コロナ禍とともに幕を開けた2020年代。深刻な環境危機や経済的貧困の拡大のなかで問われているのは、マジョリティの内側からの変容であり、政治的主体化ではないか? 人々を分断する新自由主義の価値観、性差別や民族差別、優生思想がもたらす複合的な暴力を解体すること、〈棄民〉の政治に抵抗することが世界同時的な課題となっている今、新しい民主社会への知恵をさぐる。待望の第2号! <b>【社会批評】</b> ☆関連書:既刊『対抗言論 1号』、杉田俊介『ドラえもん論』(P.ヴァイン)『人志とたけし』(晶文社)。
-------	----	---



部数	法政大学出版局 <b>2021年1月28日出来予定</b> 定価4400円(本体4000円+税) A5判上製・410頁 アイリス・マリオン・ヤング 著/飯田文雄、菊田真司、田村哲樹 監訳/河村真実、山田祥子 訳 《サビエンティア 60》 <b>正義と差異の政治</b> <b>ISBN978-4-588-60360-0 C3331</b> 自分と異なる他者への嫌悪や抑圧は、差異を取り除き、同一にすればなくなるのだろうか。正義の分配的パラダイムの限界を指摘し、性や人種、年齢や文化などの差異を認知して肯定する都市の公衆と民主主義にこそ、著者は希望を見いだす。差異と正義に関する社会的・規範的な理論としてもはや古典とされる、政治哲学者ヤングの主著ついに翻訳。 <b>【政治哲学・政治思想】</b> ☆関連書:キムリッカ『土着語の政治』、ペイトマン『秩序を乱す女たち?』(いずれも小局刊)。
----	---



部数	法政大学出版局 <b>2021年2月上旬出来予定</b> 定価3520円(本体3200円+税) A5判並製・430頁 日本アーレント研究会 編 <b>アーレント読本</b> <b>ISBN978-4-588-15109-5 C1010</b> 二十世紀の全体主義の惨禍を、一人のユダヤ人女性として、亡命知識人として生きたハンナ・アーレント。政治的公共性や市民的自由がグローバルな危機に瀕し、民主主義の未来が脅かされる現在、彼女の思考の遺産から私たちは何を学ぶべきなのか? ベテランから若手まで総勢50名弱の気鋭の執筆者が、主要なテーマ群を最新の視点で掘り下げる決定版の入門書。各著作の解題や略年譜も付す。 <b>【政治思想・哲学】</b> ☆関連書:三浦隆宏著『活動の奇跡——アーレント政治理論と哲学カフェ』、正・統『ハイデガー読本』。
----	--

ご担当者様 氏名: [ ] 担当ジャンル: [ ] TEL: [ ]

\* 配本部数等で事前にご連絡する場合がございます。上覧にご担当者様氏名・TELをご記入下さい。  
 \* 宛名ラベルの内容に変更がございましたらお知らせ下さい。次回以降訂正致します。